

いきいき新聞

3月号

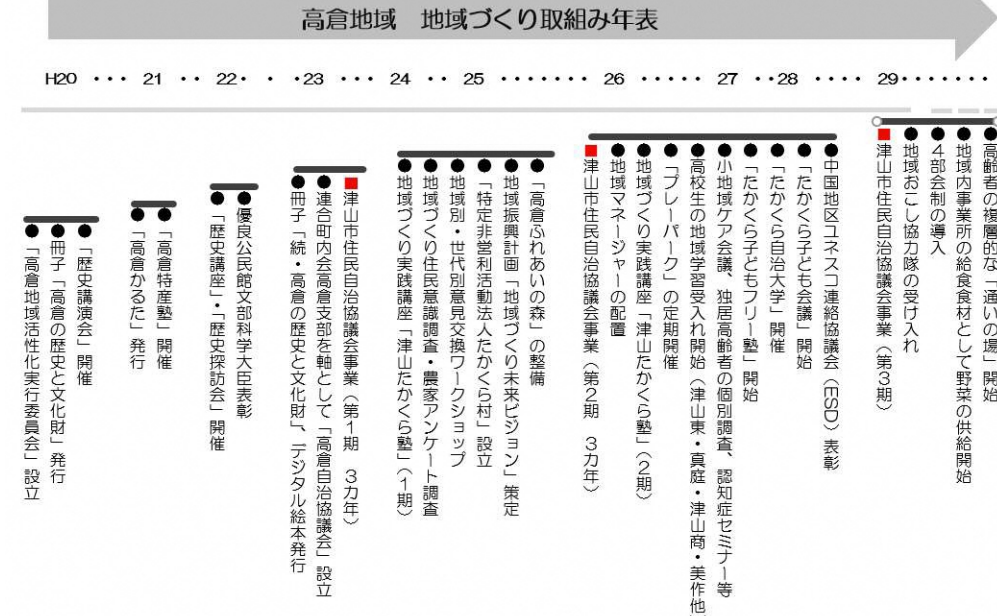
がんばる地域づくり 第1回 高倉自治協議会

住んでよし、いつか帰って来たい高倉

地域運営組織は地域づくりの一つの手法として全国で注目されています。津山でも12の地域で取り組まれており、高倉地域も早くから地域運営組織を立ち上げました。

高倉は先人のたゆまぬ努力により育まれた、豊かな自然と誇れる歴史に恵まれた地域です。また、近年は道路、自動車交通の整備発達により、買い物、通院等の日常生活の利便性も優れた住みやすい地域です。

一方、少子高齢化人口減少社会の中で、高倉小学校の児童数の減少や空



高倉自治協議会の4部会制

- 子育て魅力部会
- 地域の絆部会
- 食と農の事業部会
- 総務広報部会



冬休みフリー塾×美術高校

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600



子ども会議の様子

また、教育や地域づくりの成果はすぐに目に見えず悩むことも多いですが、地産地消の交流ラン

チ会を開けば100人近い参加者が集まり賑わいます。高齢者の「通いの場」は現在3ヶ所立ち上がっています。地域づくりに関わる人は少しずつですが確実に増えているように感じます。

そして、活動の中で見



きんちやい家（通いの場）

えてくる子どもたちや関わる大人の変化や高倉地域の学生が「地域づくり」を学ぶ分野に進む等、地域活動を通し学び成長していく子どもたちの姿には励まされます。

今後も「住んでよし、いつか帰って来たい高倉」を目指し、継続的に取り組んでいくために知恵を出し合い、話し合いを重ねていきます。

☆フェイスブックで情報発信しているので、チェックしてね！

●高倉自治協議会
(高倉公民館内)
Tel 29-1513

●津山まちの駅城西
Tel 24-6690

●城西まちづくり協議会
Tel 31-0102

●津山まちの駅城西
Tel 24-6690

発行



ホームページ
QRコード



印刷機あります
有料・用紙持ち込み

お知らせ

【津山まちの駅城西オー
ブニングセレモニー】
日時・2019年4月2
日(火) 11時
場所・作州民芸館
内容・看板除幕式、鶴山
桜太鼓による和太鼓演奏
☆お買い物された方もし
くはカフェ利用の方には
紅白餅を進呈いたします
(先着200名様)
問い合わせ先…
●城西まちづくり協議会
Tel 31-0102
●津山まちの駅城西
Tel 24-6690

対話から考える地域の現状

センタースタッフ「ミユウ」のつぶやき

今回は対話から学ぶ、地域コミュニティについて考えます。

先日、中学生(若者)と大人が働き方や生き方などのテーマに沿って自由に話し合う場に

参加し、中学生の素直な意見や会話を楽しむことが出来る貴重な体験をしました。

そこで感じたことでは、人との助け合い、支え合いは必要不可欠なもの。コミュニティが充実してくると地域での生活が豊か

が、今では5人に減っています。子どもが減り、お年寄りだけの家が増えている中で、地域の行事や活動への参加も少なくなり、昔に比べると地域のコミュニティ(顔が見えるつながり)が薄くなっていると感じます。

生活をしていく中で、人との助け合い、支え合いは必要不可欠なもの。コミュニティが充実してくると地域での生活が豊か

地域づくりのヒント集①

ふるさとづくり大賞
最優秀賞 豊重氏

■「やねだん」の概要
鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落(通称やねだん)は、現在110世帯235人が共在する、中山間地域の集落です。平成8年に私は輪番制であった同集落の「自治公民館長」に就任しました。その当時の「やねだん」は、高齢化が進んで耕作放棄地や空き家が増えていました。一方、地域活動や婦人部、青年部もなく、住民の8割は地域活動に無関心でした。そこで、館長として提案したのが、行政に頼らない自主財源での地域おこしです。補助金頼みでは集落も人も育ちません。自分たちの問題を自分たちで解決するのが住民自治です。このため、自主財源を確保するためにコミュニティビジネスに取り組むことにしました。具体的には、休耕地を借りて「住民総出」でサツマイモの栽培に取り組みました。高齢者や子ども、孫達の出番を畑に求めたことで、ビジネスにとどまらず、コミュニティスクールを受け皿ともなりました。 つづく
出典…(一社)地域活性化センター発行「地域づくり特集編」